

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	茅ヶ崎里山公園		
所在地	茅ヶ崎市芹沢		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成13年10月)		
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (藤沢土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p><評価の理由> 利用者の満足度がS、収支状況がSであるが、利用状況がCとなったことから、B評価となった。</p> <p><今後の課題・対応等> 本公園の魅力である里山の自然を活かし、各種団体と協働した里山保全活動や、学校と連携した農体験活動を実施するとともに、引き続き、適切な管理と地域活性化の取組の実施により高い利用者満足度を維持し、清潔で快適な公園利用空間の確保に努めることを期待する。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 提案に基づいて、地域団体や学校等と連携した農体験活動、ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環の取組や、地元食材を活用した飲食サービスの提供など、公園の魅力を伝える取組を実施し、優れた実績をあげた。また、ナラ枯れ罹患木の対応や外来植物の除去など精力的な維持管理に努めている。◆利用状況 感染症拡大防止の観点から、大型イベントが中止となった影響等により、利用者数は目標に及ばずC評価となった。しかし、里の家マルシェにおいて、地域の住民や事業者と連携し地域活性化の取り組みを開始したことは評価できる。引き続き、里の家やバーベキュー場を中心とした公園北部エリアの活性化に期待する。◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が94.8%となったため、S評価となった。◆収支状況 原油価格高騰に伴い電気代等が高騰し、支出が増したが、里山の保全における地域団体との協働が効率よく図られ、公園職員による施設管理が適切に行われたことで、コスト節減につながったことから、収支比率が105.5%となったため、S評価となった。◆苦情・要望等 里山の管理運営に関する苦情が寄せられてたが、誠実に対応している。一方、トイレや園内清掃状況などの利用者が目につきやすい点についての苦情はなく、日頃の維持管理の成果が表れている。◆事故・不祥事 指定管理職員の事故が発生した。作業時の安全管理に留意し再発防止に努めてほしい。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 なお、令和4年度の3項目評価についてはB評価となった。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	S	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月3回程度	施設や植物の管理状況、トイレや園内の清掃状況を重点的に現地調査を実施した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	隔月実施	月1回の月例業務報告時は対面にて意見交換を行った。その他、電話やメールにて施設の管理運営上の課題等を情報共有し、現地調査実施時には立会いのうえ意見交換を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容
		—

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■地域と連携した魅力ある施設づくり ○自然・地域と関わり育む里山環境 ○多様な主体との連携、協力体制の構築	・地域団体や学校等と連携した農体験活動やボランティアと協働した里山保全活動を実施した。 ・専門学校の実習の一環として、花壇管理、樹木剪定、外来種の駆除、竹林間伐を実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・魅力ある公園づくりに向け、今後も、様々な主体の参画の場を確保していくことが望まれる。
■施設の維持管理 ○区域ごとの特性を踏まえた維持管理 ○生物多様性に配慮した里地・里山の環境づくり	・ナラ枯れ調査を実施し、被害木の拡大防止に向け、捕獲トラップを設置する等の適切な措置を実施した。 ・協力団体と協働で、絶滅危惧種の生物調査の継続実施や外来植物の除去に努めた。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、有識者の意見を踏まえ、ボランティア団体等と連携して、公園の特性を踏まえた維持管理に取り組んでいくことを期待する。
■利用促進のための取組 ○ふるさとと懐かしさを伝えるプログラム ○いきいきと交流できる場の提供 ○地域とともにいきいき里山 ○周辺施設との交流	・学校の課外授業の一環として、里山学校の取組を継続（小学校：5回/年、中学校：4回/年）するなど、公園の魅力伝える様々なプログラムを実施した。 ・里の家マルシェにおいて、地域の住民や事業者と連携し地域活性化の取り組みを開始した（クラブ教室等のイベント、ソーラークッキング等）。 ・茅ヶ崎市文化会館と協働でクリスマスコンサートを実施した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・様々なイベントやプログラムを用意し、利用促進に努めた。 ・今後も、様々な方が公園を利用する機会を確保していくことが望ましい。
■持続可能な社会の実現を目指した環境配慮の取組 ○CSRとSDGsへの取組	・環境特性に合わせた生態系保全を題材に研修会を開催し、職員の共通認識のもと適切な維持管理に努めた。 ・定例の観察会のほか、多くの自然及び里山体験ができるイベントを開催した。 ・公園内の間伐を行った際に発生した材木からチップを作り、園路への敷設やバイオマスボイラーの燃料として活用した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、SDGsを意識した維持保全や社会貢献活動に積極的に取り組んでいくことを期待する。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	バーベキュー場の運営を行った。
その他	公園カレンダー等の販売を行った。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	299,879	321,827	301,405
対前年度比		107.3%	93.7%
目標値	396,000	396,000	394,000
目標達成率	75.7%	81.3%	76.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場台数及び団体申込数等から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】 （※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

利用者数は一昨年度から横ばいで推移している。大型イベントである春と秋の公園まつり、レインボーフェスティバル（市主催）の中止、人流抑制のためバーベキュー場の利用人数を制限したことなどにより、コロナ禍以前の利用者数までは戻っていない。

②令和4年度の対応状況

感染症拡大防止として、園内掲示や園内放送、巡視による利用指導等による利用者への周知、消毒液を配置するなどの感染対策を行い、利用者が安全で快適に過ごせるよう対応した。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 252 / 262 = 96.2%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	148	91	10	3	0	252	・トイレや施設が清潔。 ・自然に囲まれ癒される。
回答率	58.7%	36.1%	4.0%	1.2%	0.0%		
前年度の回答数	65	36	3	3	1	108	
前年度回答率	60.2%	33.3%	2.8%	2.8%	0.9%		
回答率の対前年度比	97.6%	108.3%	142.9%	42.9%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	121,088	0	17,852	駐車場13,148 自販機 4,704	138,940	138,940	0	
	決算	121,954	0	16,133	駐車場12,637 自販機 3,367 雇用調整助成金 129	138,087	131,580	6,507	104.95%
前年度	当初予算	121,204	0	17,917	駐車場13,213 自販機 4,704	139,121	139,121	0	
	決算	121,204	0	18,211	駐車場13,862 自販機 4,349	139,415	132,984	6,431	104.84%
令和4年度	当初予算	128,000	0	21,687	駐車場18,520 自販機 3,167	149,687	149,687	0	
	決算	128,000	0	17,832	駐車場14,900 自販機 2,932	145,832	138,219	7,613	105.51%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響
 原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 原油価格高騰の影響については「2.総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	2 件	・イベント時の出庫渋滞への苦情。 ・駐車場看板の減免対象者の表記が不適切。	・自動精算機更新時に前払制の可否を検討。 ・表記を改めた。
	口頭	0 件		
職員対応	電話	1 件	・トイレの清掃員がジロジロ見ていて感じが悪い。	・清掃員を注意。
	口頭	0 件		
事業内容	電話	0 件	-	-
	口頭	0 件		
その他	電話	0 件	-	-
	口頭	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R5. 6. 17	①職員が草刈り作業中に刈込機（ハジトリア）で左ひざを切創した。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③病院で処置後、職場に復帰した。 再発防止策として、朝ミーティングにおける工具の取扱注意事項の遵守徹底、けが人が出た場合は作業を中止し状況確認、作業に負担がないように直営作業と外注作業の見直しを図った。 ④無 ⑤無 ⑥無
R4. 7. 6	①公園利用者が朝、西トイレ（個室）を利用した際、ドアの不具合で閉じ込められた。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③利用者が消防へ通報し、レスキュー隊が救出した。 再発防止策として、清掃員のドアノブの点検を徹底した。 ④無 ⑤無 ⑥無
R4. 12. 15	①14日深夜から15日早朝にかけて自動販売機4基の扉をバールのようなものでこじ開けられ、金銭を奪われた。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③公園利用者が警察に通報し、現場検証した。機器と扉を固定する防犯器具は設置されていたが壊されていた。 再発防止策として、キャッシュレスで購入できる電子マネー対応の機種へ順次変更していくとともに夜間警備の回数増とした。 ④無 ⑤無 ⑥無
R5. 2. 20	①公園利用者が駐車場に戻る途中、車止めにつまづき転倒した。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③救急搬送され、病院で処置された。 再発防止策として、通路以外から駐車場へ進入できないようコーンを設置した。 ④無 ⑤無 ⑥無
R5. 3. 22	①職員が丸太を積み込み中に指を挟み、左小指に切り傷を負った。 ②同日に電話とメールにて報告があった。 ③病院で処置後、職場へ復帰した。 再発防止策として、皮手袋等の保護具の使用を徹底した。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。